

エコニュース さって



第 8 号

平成 17 年 12 月 22 日
幸手市市民環境会
議（幸手市環境保全課
内）TEL48-0331

（市民環境会議各グループの活動から）

ひょっこりひょうたん島ができた！

11月27日（日）9時から“集まれ、行幸湖に浮島を浮かべるぞ！”と題してイカダで作る浮島づくりが行幸湖カヌークラブとの共催で開催されました。

これは“NPO法人とよあしはら”が県の委託を受け、行幸湖の水質浄化を目的に、植物を植えたイカダを浮かべるというものです。



秋晴れの空の下、ガールスカウトやカヌークラブなどの約20人の子どもたちも参加して、総勢約70人が集まりました。“浮島”を設計した宮林先生や山本さんの指導の下、さっそく作業に取りかかりましたが、イカダ作りは初めて。



大人も子どももワイワイガヤガヤと騒ぎながらも目つきは真剣。手元はしっかりとロープを握り、太い竹と間伐材の杉でイカダを組立ててゆきます。→



←女子の分担は植生袋づくり、ヤシの太いひもで編んだ袋に炭を詰めて太い針でブスブスとかがって止め、アシと花しょうぶの根を挿します。



これをイカダの上に乗せロープでしっかり止めて出来上がり。→



堤の上から皆で力を合わせて行幸湖にイカダを降ろした時に歓声が上がりました。

←記念にとイカダに乗せてもらった子どもたちは大喜び。

最後はドラゴンボートで噴水のそばまで曳航。おもりのついたイカダは重かったけれど、漕ぎ手の面々の表情は充実感でいっぱいでした。子どもたちも元気いっぱい漕ぎました。（上の写真）広い行幸湖に小さなイカダが2基浮かびました。

春にはアシや花しょうぶの根が伸び、水の中から養分を吸って水をきれいにしてくれるでしょう。芽が伸びてアシが茂り、鳥たちが羽根を休め、子育てをするかな、浮島の下には、きれいな水を求めて魚が寄ってくるかなと楽しみです。

いつか、この浮島が岸边いっぱい広がったら行幸湖のアオコもなくなり、きれいになるでしょう。

その日を夢見ての、今日は第一歩、みんな来年も又つくろうね！（藤城）



ドラゴンボート

行幸湖カヌークラブの太鼓手のリードで行幸湖に浮かんだ「浮島」を牽引したボートは、ドラゴンボート（龍舟）です。櫂を艇に固定しないで複数の人間で漕ぐカヌータイプの艇で、古代中国で生まれた世界最古の手漕ぎ舟の競漕であると言われています。（橋本）

（市民環境会議各グループの活動）

健康まつりに参加 ～ ウェルス幸手 ～



11月13日（日）ウェルス幸手で行われた健康まつりに「エコライフDAY キャンペーン」コーナーを出展



「エコライフDAY」のチェックシートを配ったり、いろいろな展示や紙芝居などで、環境にやさしい生活の実践を訴えました。

市民環境会議の活動報告や今後の活動についてもピーアール。環境をよくしようという試みが、市民の手で「できることからひとつずつ」形になっていくことを実感していただけたのではないかと思います。さて、「エコライフDAY」は幸手市民5千人の参加が目標です。回収されたチェックシートは集計して、ご報告しますので、お楽しみに。（松田）



(市民環境会議各グループの活動)

さくらの落葉リサイクルで腐葉土づくり

今回は1月の切り替えし、完成は来春

11月19日(土) ひばりヶ丘桜泉園で、権現堂川地域環境保全協議会の協力を得て、約30人が集まり、新井康之さんの指導の下、腐葉土づくりをしました。



新井康之さん

前夜の強風で桜泉園は落葉でいっぱい。まずは全員で園内外のさくらの落葉を掃き集めて、袋に。→

30分余りで、きれいになって落葉の詰まった袋の山ができました。

新井康之さんの指導で、さっそく腐葉土づくりの作業開始。集めた落葉を約30cmほど積んで、みんなでよく踏みつけました。やわらかい落葉の感触を足の裏で感じました。→

← つぎに落葉の上に米ぬかや硫安・油粕・鶏糞をふりかけ、その上から水をまきました。さらに、落葉を3段に積んで、最後にシートをかぶせて終了。なお、油粕や鶏糞はなくてもよいとのこと。

さくらの落葉は腐葉土を作るのには不向きとか、でも、みんなの熱意と仕込んだ豊富な材料で“特上”の腐葉土ができると新井さんも太鼓判。

終了後、落葉で焼いた焼いもを頬張りながら質疑応答を行い、1月22日(日)の切り返しのための再参集を楽しみに解散しました。



やきいもづくり

ちょっと風があり、秋の日だまりがほしい日でしたが、権現堂川地区環境保全協議会のみなさんとたき火を囲んで楽しくやきいもづくりができました。暖かい火種の中にさつまいもを入れ、待つことしばし、おいしいやきいもの出来上がり。さつまいもは地元、幸手地産地消研究会の方々が作られたもので、集まったみなさんにほくほくの味覚を楽しんでもらえました。

また、来年機会がありましたら、ぜひご参加お待ちしております。(三石)



今回のイベントは、市民環境会議として一般市民に初めて参加いただいた共同作業であり、楽しさとともに一般市民へ展開(コミュニケーション)ができたことは非常に有意義な第一歩であったと委員、スタッフとも喜び、ともに参加いただいた市民の皆様に感謝しています。(澤村)

消費生活展

12月4日(日)中央公民館で、消費生活展が開催され、エコライフDAY実行委員会の本田委員長、宮田副委員長が「エコライフDAY」について講演しました。そのなかで紹介した、ビンやボトルを回収するときに便利な「取りマウス」、「切りマウス」はとても好評でした。

環境フェスタSAITAMA 2005in所沢

12月3日(土)所沢で、環境フェスタが開催され、第3分科会(環境学習最前線)で幸手ひがし幼稚園の中村園長が活動状況を発表されました。

権現堂川小学校でケナフの刈り取り

12月22日(火)に権現堂川小学校で、4年生が6月に植えたケナフを権現堂川地区環境協議会のみなさんが刈り取りをしました。そのあと、4年生がケナフの皮をはいで、2月にやる紙梳きの準備をしました。

1月の行事・活動

中央公民館 42-5156

1月7日(土)9:30

七草がゆを食べる会

場所：中央公民館

定員：20名

参加費：無料

生涯学習課 42-5578

第3回自然観察隊

1月9日(月)10:00~13:00

場所：宇和田公園・東公民館

定員 市内の小中学生 30名

参加費：無料

みんなで七草がゆを食べましょう

幸手自然愛護会(会員 約80名)

バードウォッチング

1月21日(土)8:00 - 10:00

2月18日(土)8:00 - 10:00

集合場所：沼井公園観察デッキ前

(鷲宮町桜田3丁目)

参加費：無料 案内：青柳 進氏

(わしみや自然保護ボランティアの会)

問い合わせ先(主催):

自然観察クラブ 横田さん 43-1373

幸手地産地消研究会 (会員40名)

年末は29日(木)が最終日、

年初は5日(木)から

火、木、土、日曜日10時~13時

ゆうあい農産物直売所

場所：幸手郵便局東隣

*問合せ 増田さん 42-3813

エコ・リサイクル交流集会2006

「循環型社会の費用はどうする、どうなる！」

<日時> 2006年1月28日(土)

午前10時から午後4時30分

<会場> さいたま市民会館うらわ

(浦和駅西口徒歩7分)

<参加費> 無料

パネルディスカッション(10:30~11:50)

テーマ

「改正容リ法の費用はどうする、どうなる！」

分科会(13:15~16:30)

○第1分科会「ごみの処理費は誰が払うのか」

○第2分科会「どうなっちゃうの?レジ袋!」

- レジ袋有料化が、改正容リ法で急浮上 -

○第3分科会「京都議定書簡単クリヤー、

省エネ・新エネ活用術」

*問合せ 県資源循環推進課 048-830-3106

その他の活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、花いっぱい咲かせ隊、エコグリーン幸手